

令和2年度3月吹田市公民館運営審議会議事録

(書面決議)

令和2年度3月吹田市公民館運営審議会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集しての開催を取り止め、吹田市非常災害時における執行機関の附属機関の答申の特例に関する規則第2条に基づき、書面の提出により各委員の承認を受ける方法により決定しました。

1 会議成立の確認

公民館運営審議会委員総数 8名 書面提出者 8名

吹田市公民館運営審議会規則第3条第2項「審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」に規定する会議成立の要件を、意見提出を以て出席とみなすことにより満たしています。

2 議題

- (1) 議案1 吹田市地区公民館事業について
承認(8)、不承認(0)、無効(0)
- (2) 議案2 令和2年度地区公民館関係者研修について
承認(8)、不承認(0)、無効(0)
- (3) その他意見

3 決議があったとみなされた日

令和3年3月26日

【意見】

議案1「吹田市地区公民館事業について」

- ・予防のため臨時休館はやむを得なかったと思う。これからもできる方向を考えていくことは大切だと思う。北千里地区公民館のオンライン講座は素晴らしい。
- ・コロナ禍にあって多くのコミュニティが同じような悩みを共有している。利用者側は自分の判断で参加、不参加は決めることができるが、主催者側の多くがジレンマをかかえながらの1年であったと思う。

慎重な方、人恋しい方、家族の意向等考え方が別れた事と思う。参加人数よりも、むしろ1年間活動を繋いだことに敬意を表したい。人は集う事によって文化や友情を育て、特に社会との接点が減ってゆく高齢者にとって地域での交流はとても大切である。フレイルの予防にもなる。

オンラインでの試みも今は無理があつて否定する意見も多いと思うが、未来を踏まえての準備という点でコロナ禍がチャンスと捉え進めて良いと思う。

- ・高齢者が多く集う公民館での対応については苦勞したと思う。予防を徹底したうえで館の役割を創意工夫して欲しい。
- ・感染防止対策と、市民の交流の場という相反する動きが必要な中、工夫して事業を進めていただいたことに感謝する。
- ・各館で取り組んでいた活動が、コロナ禍により中止になったことはとても残念に思う。オンライン講座等のできる事を模索し、今後どのような事業ができるのか、楽しみでもある。

議案2 「令和2年度地区公民館関係者研修について」

- ・時代の流れに沿った研修会を持つことは大切なことである。
- ・ネット時代に入り、このテーマはタイムリーでとても良いと思う。悪気無き無知によって相手に迷惑や損害を与えたり、犯罪や裁判に及ぶことにならないようにして頂きたい。
- ・AI 機器の普及・進歩に適応して個々の事例を詳細に把握しないとならない事から、時代に合った取組であつたと評価する。そのことはアンケート結果に現れている。
- ・著作権は公民館のホームページに限らず、広報誌や発行物を出す際に気をつけなければならない問題である。

議案3 「その他 意見」

- ・令和3年度にむけ、「文化祭」は公民館を利用する高齢者の一つの生きがいとなっている。開催に向け考えていくことは大切だと考える。
- ・新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら講座に参加していただきたい。
- ・閉館期間が続くと、これまで築かれた活動が再開後も停滞することが懸念される。閉館中には利用団体代表者等と情報交換をし、再開後は感染予防対策を考え、できる範囲で活動が再開できるようにして欲しい。
- ・コロナ禍で市として公民館をどのような使い方をして欲しいか、どのような地域づくりを目指すのかを打ち出す転機にして欲しい。